



2022 年 5 月 22 日

森と海の自然科活動案内・テーマ「森」 パワースポットの鞍馬寺から貴船神社（報告）

今回のコースは、源義経と天狗の伝説などの神秘に満ちた鞍馬から、貴船川沿いの貴船神社まで歩きました。叡山電鉄出町柳から鞍馬駅まで、新緑のトンネルの中を電車も徐行していて景色を堪能できました。鞍馬川と貴船川の分水嶺を歩く道です。2つの川が鴨川になり、桂川に合流し淀川に繋がるという源流域を歩く活動でした。

日時
集合
行程

2022 年 5 月 19 日（木）
叡山電鉄鞍馬駅 10 時 31 分
鞍馬駅・鞍馬寺仁王門・由岐神社・鞍馬寺本殿金堂・昼食・奥の院入口・一木の根道・大杉権現社・僧正が谷不動堂・奥の院魔王殿・西門——貴船神社・奥宮・叡山電鉄貴船口・出町柳駅（解散）

参加者 13 名

集合場所鞍馬駅では、大天狗が出迎えてくれます。ここからすぐ鞍馬寺の仁王門ですが、手前のお土産屋さんに沢山の天狗の面があり、立ち寄ってお土産の佃煮をゲット。赤い仁王門に石段脇の新緑が映えます。少し歩くと、由岐神社に到着。10月には松明を担いで練り歩く京都3大奇祭のひとつ鞍馬の火祭がおこなわれます。

急な坂を登り、鞍馬寺本殿金堂に着きました。比叡山が見渡せる最高の景色です。また、金堂前の金剛床が、宇宙のエネルギーを感じることができるパワースポットとして人気があり、私達も早速エネルギーを体に受け止めました。ちょうど空に、太陽の周りに光の輪ハロが見えて、不思議な体験をしたように感じました。

奥の院に向かうところにある木の根道を行く。岩盤が固く地下に根を張れない杉の根が地表を這い、独特の景観を作っています。ここは、牛若丸が跳躍の稽古をした所と言われ、他にも鬼一法眼社や息継ぎの水、背比べ石等牛若丸義経ゆかりの史跡もたくさんありました。

大杉権現社は、2018年の台風21号で大きな被害が出て、大杉の下部もなぎ倒され社殿も壊されてありませんでした。現在修復中です。自然の力の大きさに圧倒されます。

奥の院魔王殿は、650万年前に金星から舞い降りたとされる護法魔王尊が祀られているところ。小堂は折り重なった石灰岩の上に建てられ、堂の前の石灰岩にはフズリナ等の化石を見ることが出来ました。

鞍馬寺西門を通り抜け貴船川を渡ると、川沿いに川床料理を出す料亭が並んでいました。川音を聞きながらの食事は如何にも涼しげです。貴船神社の参道には、ずらりと朱塗りの灯籠が並び青紅葉と美しい景観を見せてくれます。ここは、水をつかさどる神様を祀り、水に浮かべると文字が浮かび上がってくる水占みくじがあります。境内の池にタゴガエルの鳴き声はあれども、姿は見え卵が沢山浮かんでいました。

貴船神社奥宮に足を延ばしました。社伝には、「玉依姫命が黄船に乗って浪速から淀川、鴨川、貴船川を遡って当地に上陸し、そこに祠を営んで水神を祀ったのが当宮の起りである」とのことで、地名の起源の説となっているとか。途中にあるつつみが岩は、福嶋昭治さんに海底火山で出来る枕状溶岩であると教えてもらいました。火山ガスが抜けた跡も確認できました。

バス待ちの場所にジャケツイバラの鮮やかな黄色の花が沢山見られました。シカに新芽を食べられて盆栽のようになっていた樹々があるなか、トゲがあるからかこれからはしっかり繁殖しそうです。

1日お天気も良く、新緑を堪能しました。また、鞍馬山がかつては海底火山だったということが、目で見て理解出来ました。風薫る5月を感じる清々しい活動でした。



鞍馬駅前 大天狗



仁王門



由岐神社



鞍馬寺 本殿前の金剛床でエネルギーを貰う



ハロ



大杉権現社



魔王殿



化石が確認できた石灰岩



貴船神社参道



貴船神社奥宮と御船形石



ジャケツイバラ